

首切り「三本柱」と対決し、「60・3」粉碎 へ総決起するぞ 木更津支部定期大会



斉藤支部長を先頭に、支部51名の団結と闘志は満々だ。(11月6日)

決戦の砦・三里塚へいつでも決起できる体制を早急につくる必要があることを明確にした。続いてあいさつに立った本部・山口副委員長は、情勢と当面の課題として、①「戦後政治の総決算」―軍事大国化・改憲へ向けた攻撃の焦点が、三里塚と国鉄労働運動つづしの攻撃であることを見極め、中曾根と対決する労働運動の高揚へ向け闘っていく必要があること ②「60・3」をどう闘いどう阻止していくのか、動力車乗務員の労働条件をどう決めていくのか、検修合理化をどう阻止していくのか、年内に大きな山がくること ③「11・10国鉄労働者集会」へ結集し、牽引することが以上の二点とからめて大きなポイントとなる、ことを熱っぽく訴えられた。

熱のこもった討論で方針を確立

- 経過報告、方針(案)、予算(案)提起のあと、質疑に入り、
- ① 「60・3」三〇〇名の過員発生により、他系統への転勤はあるのか、
 - ② 検査周期が延伸されると、木更津の要員展望についてどうなるのか、
 - ③ 五年本科の将来展望について
 - ④ 上総亀山冬期要員の展望について
 - ⑤ 転勤・転換希望調査、EC転換について
 - ⑥ 「三本柱」攻撃は首切り攻撃であり、労働組合つぶしであることを見すえ闘っていく必要がある。
 - ⑦ 運転保安闘争をもっと強力に押し進めるために奮闘すべきである。

日刊 労働千葉

84. 11. 12

No. 1790

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)(公衆)〇四七二(22)七二〇七

木更津支部第7回定期大会は十一月六日、支区講習室に組合員四二二名が結集する中、永島代議員(乗務員分科)を議長に選出して開かれ、「60・3」へ向けた意志統一を行い成功裡に終了した。われわれをめぐる今日の情勢は、国鉄における臨調―行革、「分割・民営化」「三本柱」攻撃の一方、三里塚においては成田用水・二期着工攻撃と、まさしく密集せる反動攻撃の嵐が到来しています。われわれは今大会の成功をステップに、攻撃の本質をしっかりと見極め、一つ一つたたきつづき決意である。

支部通信員・衆

「60・3」「三本柱」と対決して闘う

― 斉藤支部長が あいさつ ―

冒頭あいさつに立った 斉藤支部長は、「60・3」「三本柱」攻撃と対決する立場を鮮明にし、階級

⑧ 検修庫気4ピットの平面化についで等の質問、決意がぞくぞくと出され、熱のこもった質疑となり、全員で意志統一を行い一年間を闘いぬく方針を決定し大会宣言を採択して終了した。われわれは、「分割・民営化」「三本柱」攻撃には決して屈しない。木原線廃止、基地統廃合を許さない。検査周期延伸を許さない。われわれは、本大会で決定された方針のもと、全力で闘いぬく決意である。

11/17 労働学校 第八回講座 に集ろう



戦争・圧政に抗し、元〇五年六月反乱を起してオデッサに入港し、民衆の歓呼にこたえる戦艦「ボロジネ」の水兵たち。



革命情勢の煮つまる中、一九二七年八月危機にかられたコルネロフ将軍の反革命反乱が発生。労働者・革命軍の拠点を防衛するため、ボリスエウイキの指導のもと労働者は武装し、民兵組織「赤衛隊」を組織して即ち勝利した。10月蜂起勝利への重要な転換を形成した。

日時―11月17日(土)
13時〜17時

場所―動力車会館(国鉄東千葉駅前)

テーマ―「ロシア革命と労働者階級」

講師―社会運動家 浜田俊郎氏

★年間受講生以外の聴講生も受けられますので、ふるって御参加下さい。